



## 第 2 部

# どうぶつ医療を取り巻く環境

## 2. Circumstances of animal health care

## 第1章 診療費用

## 1. 犬

## 2-1-1 疾患別、年齢別の1頭あたり年間診療費

(円)

疾患	0歳	1歳	3歳	5歳	7歳	10歳	12歳	14歳
1. 循環器疾患	18,699	27,996	42,219	38,432	51,341	72,938	81,853	85,401
2. 呼吸器疾患	10,819	11,819	12,276	17,528	23,314	32,059	38,971	39,647
3. 消化器疾患	10,477	11,787	13,691	15,829	18,883	24,865	21,853	28,382
4. 肝・胆・膵疾患	21,841	30,713	35,373	37,586	54,838	62,813	66,144	72,116
5. 泌尿器疾患	14,943	17,724	20,803	23,998	25,156	32,692	51,911	77,157
6. 生殖系疾患	6,718	8,152	10,139	15,052	12,863	16,557	19,656	16,041
7. 神経疾患	19,501	31,824	41,144	44,371	48,027	46,589	42,021	70,808
8. 眼の疾患	8,833	10,993	13,004	15,410	18,605	20,575	22,658	26,596
9. 耳の疾患	11,759	13,766	16,050	17,615	19,779	23,359	24,523	26,904
10. 歯・口腔疾患	7,096	8,018	11,834	12,829	13,586	14,965	12,438	14,702
11. 筋骨格系疾患	16,062	15,542	17,902	21,419	21,892	30,077	36,110	42,621
12. 皮膚疾患	12,127	16,942	22,074	24,613	27,456	31,861	36,010	40,395
13. 血液・免疫疾患	17,632	25,804	55,588	44,364	64,303	76,034	47,397	63,051
14. 内分泌疾患	23,612	38,938	63,815	70,357	84,856	90,160	99,524	104,187
15. 感染症	12,407	17,151	17,495	18,624	19,706	25,201	25,590	23,491
16. 寄生虫症	11,971	12,006	13,332	14,854	16,286	48,321	28,231	38,637
17. 損傷	7,586	8,651	9,252	10,710	11,496	15,030	12,186	13,117
18. 腫瘍疾患	8,844	10,070	19,104	19,504	25,615	35,533	42,859	36,024
19. 症状	9,282	10,827	12,110	13,336	15,318	20,512	22,970	31,259

2-1-1

対象：345,138頭（犬、0～14歳）。

各疾患を発症した犬1頭について、1年間での当該疾患で動物病院を受診した際の診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。





## 第1章 診療費用

### 2. 猫

#### 2-1-2 疾患別、年齢別の1頭あたり年間診療費

(円)

疾患	0歳	1歳	3歳	5歳	7歳	10歳	12歳	14歳
1. 循環器疾患	32,164	46,183	39,658	50,204	50,674	69,146	61,149	40,339
2. 呼吸器疾患	13,568	15,428	13,902	21,611	28,425	24,583	33,271	22,900
3. 消化器疾患	11,273	11,787	12,225	18,000	17,252	23,744	20,409	18,501
4. 肝・胆・膵疾患	24,320	29,202	31,741	55,744	39,405	89,051	100,999	100,739
5. 泌尿器疾患	18,585	22,348	42,878	38,588	45,488	51,355	74,947	68,928
6. 生殖器系疾患	7,748	8,778	10,373	8,411	11,681	19,578	3,100	1,050
7. 神経疾患	20,353	13,544	64,952	45,122	53,918	26,737	30,854	7,686
8. 眼の疾患	9,109	7,715	12,853	11,419	10,992	13,228	36,538	11,617
9. 耳の疾患	12,910	12,255	14,332	15,343	16,604	16,918	15,533	8,655
10. 歯・口腔疾患	8,883	15,737	16,434	18,587	22,273	18,574	41,715	27,550
11. 筋骨格系疾患	13,753	15,794	13,954	16,729	13,720	13,134	11,293	123,355
12. 皮膚疾患	9,086	10,799	11,996	16,073	15,921	14,084	16,871	23,220
13. 血液・免疫疾患	30,841	35,135	97,525	17,471	29,266	22,655	11,064	22,260
14. 内分泌疾患	65,009	21,719	81,432	107,223	79,453	64,574	75,519	58,655
15. 感染症	19,900	12,004	25,100	15,280	10,862	29,804	32,556	37,133
16. 寄生虫症	9,907	6,063	5,022	7,273	8,083	6,418	31,387	6,578
17. 損傷	8,525	9,195	10,744	8,567	13,069	9,519	25,253	18,151
18. 腫瘍疾患	11,634	36,673	44,435	32,310	34,146	47,105	68,043	69,876
19. 症状	10,529	12,317	16,679	14,653	17,311	18,733	22,323	29,536

2-1-2

対象：39,324頭（猫、0～14歳）。

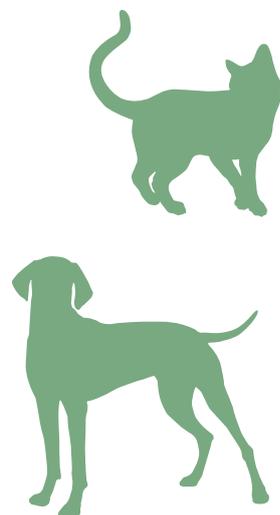
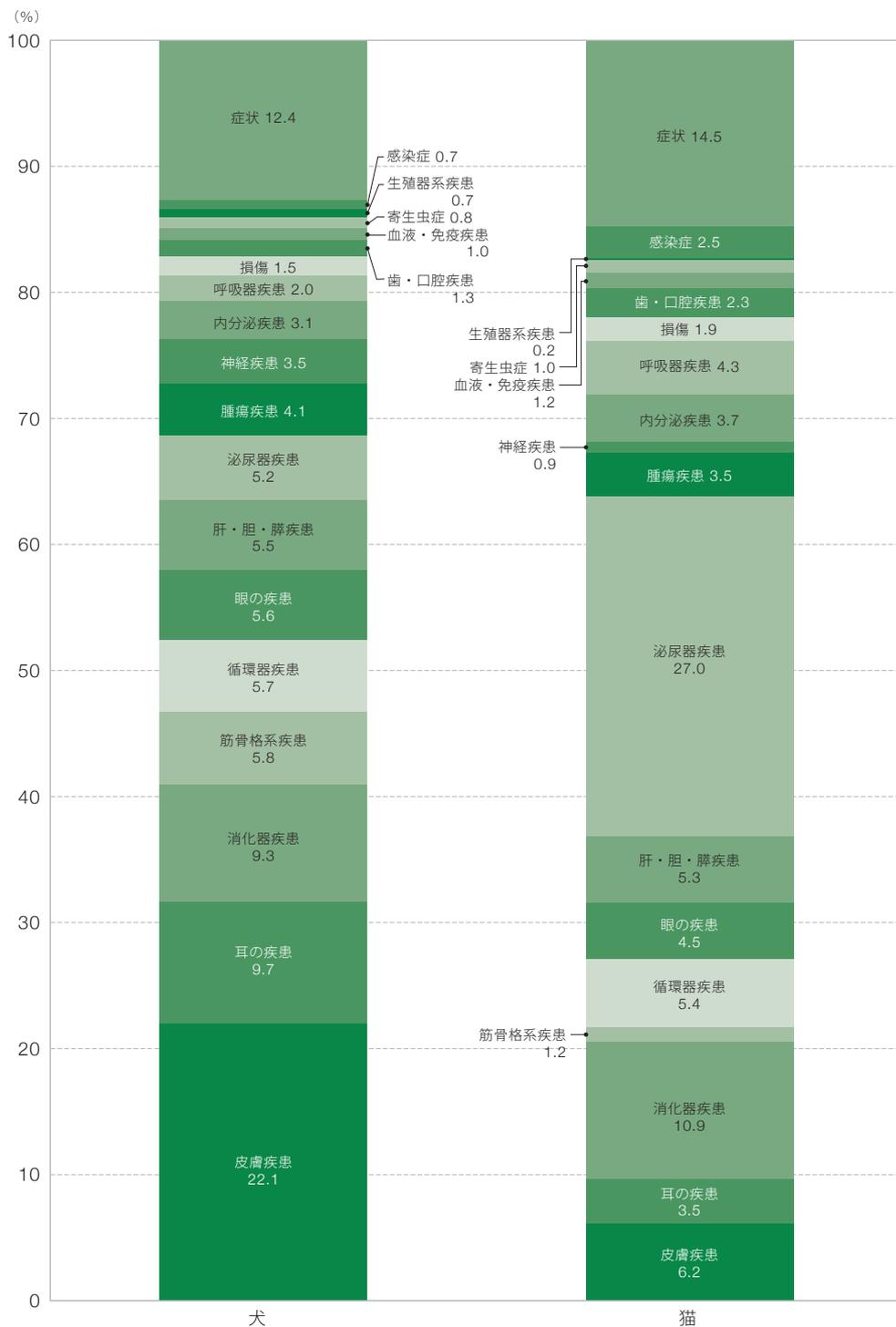
各疾患を発症した猫1頭について、1年間での当該疾患で動物病院を受診した際の診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。



第1章 診療費用

3. 診療費用における疾患構成割合

2-1-3 犬と猫の診療費における疾患構成割合



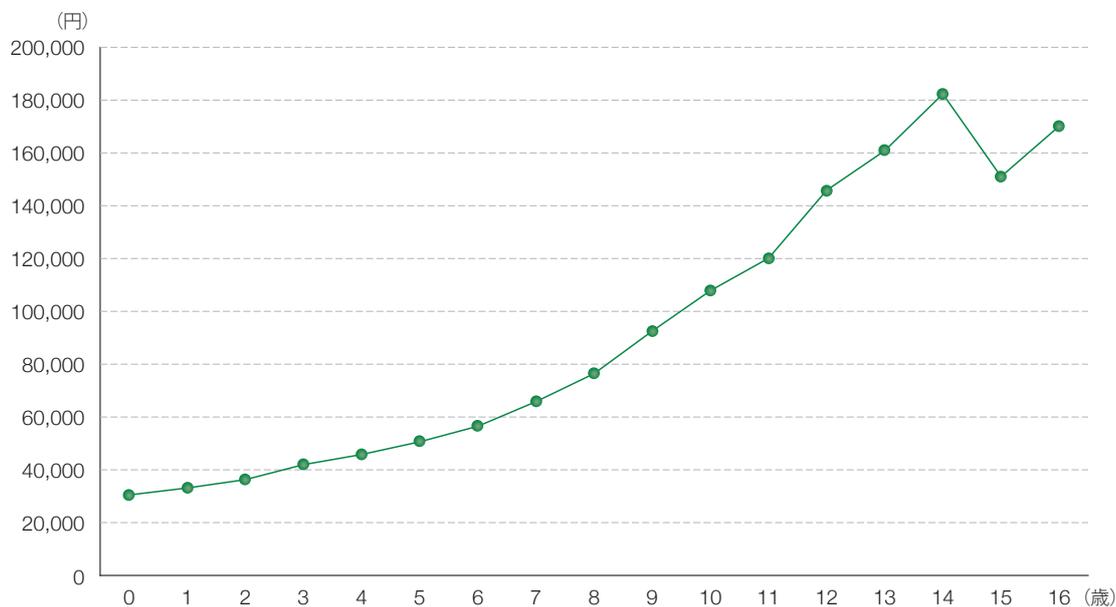
2-1-3  
 2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保に契約した、犬345,746頭および猫39,580頭（全年齢、性別不明含む）のうち、各疾患を発症して動物病院を受診した際の1年間の診療費（保険対象外項目も含む）を集計し、各疾患の構成割合を示した。  
 疾患区分：循環器、呼吸器、消化器、肝・胆・膵、泌尿器、生殖器、神経、眼、耳、歯科、筋骨格、皮膚、血液、内分泌、感染症、寄生虫、損傷、腫瘍、症状。



# 第1章 診療費用

## 4. 年齢別診療費

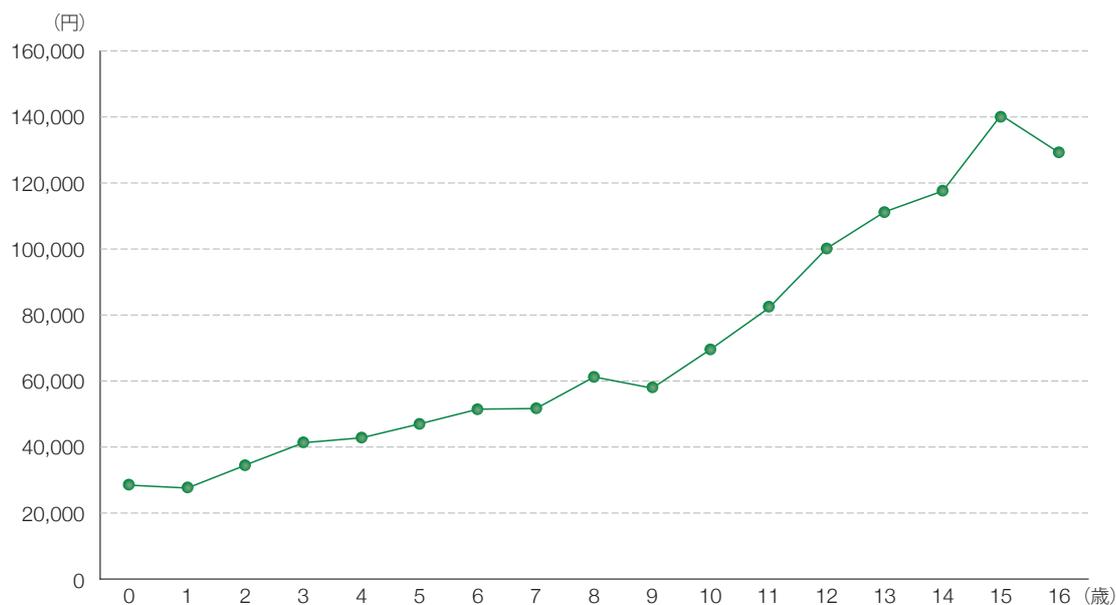
### 2-1-4 犬1頭あたりの年齢別年間診療費



2-1-4

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保に契約した、犬345,746頭（全年齢、性別不明含む）のうち、なんらかの症状で動物病院を受診した際の、1頭あたりの年間診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。

### 2-1-5 猫1頭あたりの年齢別年間診療費



2-1-5

2011年4月1日～2012年3月31日までの間に、アニコム損保に契約した、猫39,580頭（全年齢、性別不明含む）のうち、なんらかの症状で動物病院を受診した際の、1頭あたりの年間診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。

## 第1章 診療費用

## 5. 鳥・うさぎ

## 2-1-6 鳥の疾患別の1羽あたり年間診療費

(円)

疾患	0～6歳の平均
1. 循環器疾患	19,597
2. 呼吸器疾患	14,362
3. 消化器疾患	19,150
4. 肝・胆・膵疾患	28,226
5. 泌尿器疾患	15,542
6. 生殖器系疾患	37,611
7. 神経疾患	4,957
8. 眼の疾患	4,779
9. 耳の疾患	27,041
10. 歯・口腔疾患	3,203
11. 筋骨格系疾患	29,158
12. 皮膚疾患	32,231
13. 血液・免疫疾患	-
14. 内分泌疾患	38,669
15. 感染症	22,900
16. 寄生虫症	6,848
17. 損傷	4,703
18. 腫瘍疾患	11,130
19. 症状	14,964

2-1-6

対象：409羽（鳥、0～6歳、性別不明含む）。

各疾患を発症した鳥1羽について、当該疾患で動物病院を受診した際の年間診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。

## 2-1-7 うさぎの疾患別、年齢別の1頭あたり年間診療費

(円)

疾患	0歳	1歳	4歳	6歳	0～6歳の平均
1. 循環器疾患	10,980	27,773	23,303	12,399	23,707
2. 呼吸器疾患	9,023	12,796	17,848	22,399	22,081
3. 消化器疾患	16,126	18,844	25,859	33,865	24,633
4. 肝・胆・膵疾患	42,315	9,030	46,496	22,471	28,766
5. 泌尿器疾患	10,291	40,481	16,775	20,434	26,740
6. 生殖器系疾患	3,465	7,698	18,481	8,760	9,187
7. 神経疾患	119,680	46,378	22,804	15,197	67,802
8. 眼の疾患	9,843	14,735	14,036	10,724	13,385
9. 耳の疾患	11,149	20,072	18,104	27,866	17,950
10. 歯・口腔疾患	4,424	13,736	49,155	36,847	22,409
11. 筋骨格系疾患	27,855	9,767	12,405	19,846	18,016
12. 皮膚疾患	6,387	11,889	13,272	12,258	12,049
13. 血液・免疫疾患	-	-	29,557	19,950	19,669
14. 内分泌疾患	2,153	1,890	15,250	-	6,818
15. 感染症	7,383	18,499	62,034	56,629	28,747
16. 寄生虫症	7,167	8,431	7,981	14,348	10,525
17. 損傷	5,840	4,932	7,050	5,087	11,490
18. 腫瘍疾患	5,143	6,457	27,965	34,033	19,684
19. 症状	12,673	10,649	17,529	20,200	16,442

2-1-7

対象：2,168頭（うさぎ、0～6歳、性別不明含む）。

各疾患を発症したうさぎ1頭について、当該疾患で動物病院を受診した際の年間診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。



# 第1章 診療費用

## 6. フェレット

### 2-1-8 フェレットの疾患別、年齢別の1頭あたり年間診療費

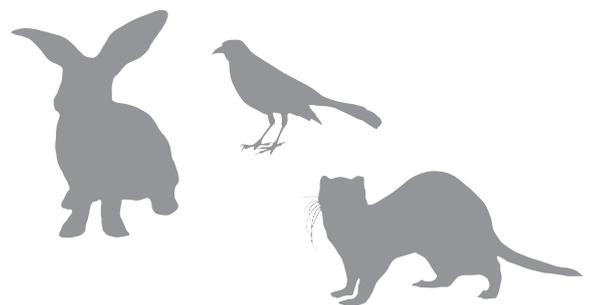
(円)

疾患	0歳	1歳	4歳	6歳	0～6歳の平均
1. 循環器疾患	11,340	-	55,888	53,812	50,420
2. 呼吸器疾患	11,838	22,600	22,379	18,680	23,559
3. 消化器疾患	17,263	15,795	30,412	15,647	18,103
4. 肝・胆・膵疾患	70,598	38,800	46,564	57,267	49,970
5. 泌尿器疾患	12,686	3,675	29,743	43,827	24,565
6. 生殖器系疾患	7,350	1,050	8,832	50,037	29,898
7. 神経疾患	-	2,817	22,422	5,250	13,671
8. 眼の疾患	4,830	5,408	11,780	11,926	9,281
9. 耳の疾患	8,046	12,406	5,980	10,290	11,619
10. 歯・口腔疾患	9,949	8,793	12,053	24,175	13,691
11. 筋骨格系疾患	6,037	3,050	7,112	27,946	11,655
12. 皮膚疾患	6,805	7,132	18,111	24,323	11,743
13. 血液・免疫疾患	17,288	5,228	7,037	27,948	18,051
14. 内分泌疾患	-	15,185	48,105	46,500	39,589
15. 感染症	6,149	26,429	57,650	30,650	25,485
16. 寄生虫症	6,990	5,555	3,975	5,400	8,627
17. 損傷	7,388	5,905	9,728	1,575	5,094
18. 腫瘍疾患	32,426	25,333	46,690	55,352	42,222
19. 症状	11,018	13,413	21,102	30,957	20,534

2-1-8

対象：1,915頭（フェレット、0～6歳）。

各疾患を発症したフェレット1頭について、当該疾患で動物病院を受診した際の年間診療費を集計した（保険対象外項目も含む）。



## 闘病日記（マイカルテ）のできるごと



「生きのびる可能性はほとんどない」—

ジステンパーによる脳脊髄炎と診断された日、ご家族は獣医師からそう告げられたという。チビちゃん（仮名）は、発症してすぐ、1カ月ほど寝たきりになった。絶望的な状況だったが、ご家族の介護と獣医師による懸命な治療の結果、その後6年間、毎日元気に過ごすことができているという。「辛いときも、何事も諦めないで、毎日明るく過ごしてほしい」と、ご家族は訴える。

これは当社のホームページ上でやっている、『闘病日記（マイカルテ）』（図）に記された体験記の1つである。闘病日記（マイカルテ）とは、インターネット上で病気を持つどうぶつと暮らす経験をしたご家族が、その体験を記録し、皆と共有するための場所だ。同じような経験をした人たちの物語に触れて、病気と向き合う勇気や知識を得るという目的もある。ここにはさまざまな経験が綴られており、それと同時に、同じような病気で悩み苦しんでいる仲間たちへのメッセージも多数寄せられている。

人の医療で、ナラティブ・ベースド・メディスン（Narrative Based Medicine = NBM）という概念が広がりつつある。“当事者・体験者の語りに基づいた医療”という意味で、良い医療とは当事者・体験者の思いや語りに基づいて提供されるべきだという考えだ。医療を提供する側が良い診療を行っても、患者の満足度が上がらな

いと、その後の診療にも影響を与えるし、医学的には治療は成功していても患者が不満を持っている状態では、医療提供者・患者の双方が不幸になる。現在の医療提供者に求められているものは、科学的に正しい医療のみではなく、患者の思いや悩みを十分理解し、患者の立場で考える視点なのかもしれない。また、患者サイドの気持ちを学ぶことで、より良いインフォームド・コンセントを行うこともできるのではないだろうか。

しかし、日々時間に追われる家庭どうぶつの診療現場においては、十分な対話を持つことができないことも多いだろう。そこで、どうぶつの闘病体験者の生の声をインターネット上で公開し、体験者が健康状態や医療に対して何を感じ、何を求めているのかを広く知ってもらおうと考え、この闘病日記を立ち上げた。そして、ここには2013年10月13日現在、273件の体験談が寄せられている。それぞれの体験記に対して、多くの閲覧者が「諦めないで」と強く励ましの言葉をかけてくれている。このような場を広げていくことで、同じ悩みを持つご家族同士の思いを共有できる場所を普及させることができる。また、ご家族の不安な気持ちを医療提供者側が理解するきっかけとなり、どうぶつ、ご家族と動物病院との絆を深めることができるだろう。



図 闘病日記（マイカルテ）

<https://www.anicom-page.com/tobyoki/>